

一次のものは文章・段落・文についてまとめたものである。□に当てはまる言葉を書きなさい。(10点×5問)

○一つのまとめた内容を文字で表したもの

文章

という。

※日常の会話など、音声で表された一まとまりの内容を

談話

という。

○文章の中で、まとめた内容を表す一区切りを

段落

という。

※詩における

連

も同じ発想。

○文章には「。」による切れ目があり、この一続きの言葉の単位を

文

という。

二次の文章を読んで、()に当てはまる言葉を書きなさい。(10点×5問)

中学校生活の中でも、一番思い出に残っていることは、三年生の時の合唱コンクールです。

私は歌うことが得意ではありません。音楽の成績もいつも良くないので、合唱コンクールはとても憂うつでした。そんな私の様子を見て、友達が優しく声をかけてくれました。「最後のコンクール、一緒に全力で取り組もう。」この一言で私は変わることができました。

本番の日、不思議なことに私は全く緊張しませんでした。努力の成果が出せるという自信があつたからです。

結果は優秀賞でした。一番はそれなかつたけれど、クラスの仲が深まつたのを感じることができました。このときの経験が私を大きく成長させてくれました。

(1) この文章にはいくつの段落がありますか。(四)

(2) この文章にはいくつの文がありますか。(十一)

(3) 言葉の単位「文・段落・文章」を大きい順に書きなさい。



点

一次のものは文・文節・単語についてまとめたものである。□に当てはまる言葉を書きなさい。（10点×3問）

○文章には「。」による切れ目があり、この一続きの言葉の単位を

○発音や意味の上で不自然にならないように、文をできるだけ短く区切ったまとまりを **文節** という。

★区切り目に「ね」「さ」「よ」などを入れてみるとよい。

○言葉の意味を壊さないように、文節をさらに細かく分けたものをといい、これは言葉としての最小の単位である。

文
単語

二次の文で文節に分けられるところに 線（ ） を引きなさい。（10点×3問）

(1) 明日の／給食は／カレーだ。

(2) 中庭に／ある／桜の／木には、／毎年／美しい／花が／咲く。

(3) 父が／集めて／いる／小説を／破つて／しまった。

三次の文を単語に分け、○で囲みなさい。（10点×2問）

(1) **明日** の **給食** は **カレー** だ。

(2) **中庭** に **ある** **桜** の **木** に **は**、**毎年** **美しい** **花** が **咲く**。

四次の文の①文節の数 ②単語の数 はそれぞれいくつですか。（10点×2問）

今日 の **委員会** で **は**、**来月** **行う** **体育祭** の
スローガン **を** **決める** **予定** **だ**。

点

①文節の数（八） ②単語の数（十四）



一 次の文の述語を○で囲みなさい。 (5点×6問)

(1) 水族館へ **行く**。

(2) 花が とても **美しい**。

(3) 私の父親は **宇宙飛行士だ**。

(4) 教室の机を **並べる**。

(5) 富士山は日本で一番高い **山だ**。

(6) 昨夜は雨が激しく **降つたようだ**。

二 次の文の主語を○で囲みなさい。 (5点×6問)

(1) 弟は **野球部員だ**。

(2) **サツカー**は 小学生に 人気だ。

(3) **先生が**プリントを配る。

(4) **優勝するのは**きっと私のクラスだ。

(5) **利根川は**日本で一番大きな川だ。

(6) 昨日は **妹も**海へ行つた。

主語の中には「**は(が)**」とならないものもあるよ。
先に述語を見つけてそれに対応する、
「**何が(誰が)**—」の関係の文節を探してみよう。



三 次の文の主語と述語をそれぞれ一文節で書き抜きなさい。 (5点×8問)

(1) 私は庭に咲くコスモスに水を やる。

主語 () 私は () 述語 () やる ()

(2) たくさんの人々がマラソン選手に声援を送つた。

主語 () 人々が () 述語 () 送つた ()

(3) 来週は卓球部も練習試合に出かけるそうだ。

主語 () 卓球部も () 述語 () 出かけるそうだ ()

店頭に並んでいる手ぬぐいも、この地方の特産品です。

主語 () 手ぬぐいも () 述語 () 特産品です ()

点

() 年 () 組 () 番 名前 ()

一次の——線の語を詳しくする文節に○を付けなさい。 (5点×4問)

(1) **みかんを** 食べる。

(2) 少年は**本を** 買いました。

(3) **友達と** 買つた ストラップ。

(4) **赤い** ランドセルに教科書を入れる。

他の文節を詳しく説明する文節を「修飾語」という。

二次の文の中から修飾語を書き抜きなさい。 (5点×3問)

(1) ひまわりの 種が 落ちている。

ひまわりの
の

(2) 図書室は三階にあります。

三階に

(3) 学級委員が司会を務める。

司会を

三次の——線の語が修飾している文節を○で囲みなさい。 (5点×4問)

(1) 難しい **本を** 読む。

新しい
の

(3) おいしい **桃を** 食べる。

新鮮な
の

修飾語によって詳しく説明される文節を「被修飾語」という。

四次の一線が修飾する被修飾語を書き抜きなさい。 (5点×3問)

(1) 来年の 春、私は 高校生になる。

春

(2) 黄色いタオルが廊下に落ちている。

タオルが

(3) 地元の図書館で静かに本を読む。

読む

五次の一線の修飾語は、ア・連体修飾語 イ・連用修飾語 のどちらか。記号で答えなさい。 (10点×3問)

(1) モーツアルトの CDを 聴きながら 勉強する。

(2) 夏目漱石の 作品を 授業で 学習した。

(3) 理科の 実験を 協力して 行う。

イ イ ア

点



中学校 国語 文法⑤ ～文の成分③（接続語）～（解答）

() 年 () 組 () 番 名前 ()

一次の文の中で、前後の文(文節)をつないでいる文節に○を付けなさい。(5点×4問)

- (1) 台風が 来た。だから 風が 強い。 (2) 明日は 祝日だ。しかし、仕事がある。
 (3) 電話、もしくは メールで連絡する。 (4) 書類に住所および 氏名を記入する。

理由や条件を表したり、前後の文をつないでその関係を示したりする文節を「接続語」という。

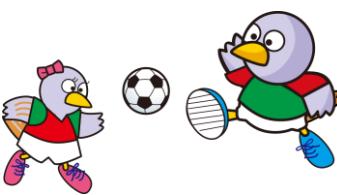
一次の文の中から接続語を書き抜きなさい。(5点×3問)

- (1) 食事に するか、それとも 風呂に 入るか。
 (2) 部活は 辛い。けれども やりがいがある。

- (3) 頑張ったね。では、 終わりに しましよう。

け	そ
れ	れ
ど	と
も	も

では



三次の文から接続語を○で囲みなさい。(5点×6問)

- (1) 台風が 来たから 風が 強い。 (2) 明日は 祝日だが 仕事がある。

- (3) 晴れば、明日は 試合だ。 (4) どんなに 眠くても、授業中に 寢ては いけない。

- (5) 猛練習したのに 怪我で 欠場だ。 (6) 早く 行かないと 先輩に しかられる。

文節の終わりに「～から」「～ば」「～ても(でも)」などがついても接続語の文節になるよ

四 次の文中の()に当てはまる接続語を後の選択肢から選んで、記号で答えなさい。(7点×5問)

- (1) キャプテンは とても まじめで、(ウ) 勇気がある人だ。
 (2) 視力が 落ちてしまつた。(イ) メガネを つくろう。
 (3) お祭りに行つてもいいよ。(エ)、九時には 必ず 帰つてきなさいよ。
 (4) キャンプに行くななら 長瀬か(オ) 嵐山か どちらに しようかな。
 (5) 美しい花を 買つたんだ。(ア) すぐに 枯れてしまつたよ。

ア・ところが イ・だから ウ・しかも エ・ただし オ・もしくは

点

主語・述語・接続語にならず、他の文節とは直接関係がなく、比較的独立している文節のことを「独立語」という。独立語は大きく次の四つに分けられる。

- A 呼びかけ** — おい・ねえ・さあ・もしもし・こんにちは
B 感動 — ああ・まあ・えつ・おお
C 応答 — はい・うん・いいえ・ええ
D 提示 — 例・東京、それは日本の首都

次の文の中で、独立語に○を付けなさい。 (4点×5問)

- (1) **はい**、 答えは B です。 (2) **さあ**、 行こうか。 (3) **うん**、 それでいいよ。
 (4) **埼玉県**、 **ここ**が私のふるさと。 (5) **どうも**、 それは助かりました。

二次の——部の独立語は A 呼びかけ・B 感動・C 応答・D 提示のどれか。記号で答えなさい。 (5点×6問)

- (1) **いいえ**、 私は知りません。

C

(2) **さあさあ**、 もう寝る時間ですよ。

A

- (3) **浮世絵**、 それは江戸時代の芸術。

D

(4) **ああ**、 なんていい景色なんだ。

B

- (5) **はい**、 こちらは消防本部です。

C

(6) **ねえ**、 僕の言うこと聞いてる?

A

次の各文から () で示されている働きをする文節に一線を付けなさい。 (5点×10問)

- (1) 新しい家にはきれいな花だんも設置された。 (主語)
 (2) 教室のガラスを割つたのは誰ですか! (主語)
 (3) ああ、ここがあこがれていたステージだ。 (述語)
 (4) 彼のグローブの値段はチームの中で一番高い。 (述語)
 (5) 彼女の誕生日にバラをプレゼントする。 (連体修飾語)
 (6) 視聴者に誤った情報が流れてしまった。 (連用修飾語)
 (7) あんなに注意したのに、なぜ失敗したのか。 (接続語)
 (8) 明日から県大会なので、今日は軽めの練習だ。 (接続語)
 (9) あれ、どうしてここに自転車があるのだろう。 (独立語)
 (10) ほら、こんなに高く積み木ができたよ。 (独立語)

点



() 年 () 組 () 番 名前 ()

一次のA～Hの文の成分はどれになるか。後の()に入れなさい。(4点×8問)
 セリヌンティウスは、^A全てを察した様子でうなずき、刑場いっぽいに鳴り響くほど音高く^Bメロスの右頬を殴つた。^C殴つてから優しくほほ笑み、「^Dメロス、私を殴れ。同じくらい音高く私の頬を^E殴れ。^F私はこの三日の間、たつた一度だけ、ちらと君を^G疑つた。生まれて初めて君を疑つた。君が私を^H殴つてくれなければ、私は君と抱擁できない。」

(太宰 治「走れメロス」による)

主語 (F) 述語 (E・G) 修飾語 (A・B) 接続語 (C・H) 独立語 (D)

二次の文の一線部の文節の文の成分は何か。後の選択肢から選び、記号で答えなさい。(4点×7問)

- (1) 自由、なんて素晴らしい響きを持つ言葉だ。 (力)
 (2) 君はがんこ者だな。でも、それが長所でもある。 (オ)
 (3) 昨日のパーティーはとても楽しかったよ。 (ウ)
 (4) 彼がそんな怒っていたとは、少しも知らなかつたよ。 (エ)
 (5) それは突然の出来事で、誰もが目を疑つた。 (イ)
 (6) 今日は東北地方を除いて、全国的に一日中晴れる。 (エ)
 (7) 校庭の桜の芽もふくらんできた。 (ア)
- ア・主語 イ・述語 ウ・連体修飾語 エ・連用修飾語 オ・接続語 カ・独立語

三次の文の一線部が接続語であるものを選び、記号に○を付けなさい。(10点×2問)

ア・この地方でもつとも大きい湖に行つた。

(1) (2) ●・広い高原だ。もつともかなり浸食されているが。

(1) (2) ○・宿題を済ませて、それから遊ぶことにしよう。
 エ・サトウキビを取り、それから砂糖が作られる。

四次の文の一線部の文節の文の成分は何か。答えなさい。(10点×2問)

(1) 今朝は家族がそろつて食事をした。(修飾語)

(2) 本当に素敵な人だ、君は。

(主語)

点



一次の文の中で主部（「何が」）を表す二つの文節に一線を引きなさい。（5点×2問）

（1）サツカート野球が得意です。 （2）赤いバッグが誕生日のプレゼントだ。

二次の文の中で述部（「どんなだ・何だ」）を表す二つの文節に一線を引きなさい。（5点×2問）

- （1）僕が好きなのは いちごと メロンだ。 （2）生徒会長はとてもがんばっている。
 主語・述語・修飾語などと同じ働きをする二つ以上の文節のまとまりを「連文節」という。連文節となつた文の成分を「主部・述部・修飾部」など「～部」とよぶ。

三次の文の中の一線部の文の成分を後の選択肢の中から選び、□に記号で答えなさい。（10点×6問）

（1）今日の 大会は 雨天のために 中止された。

（2）そんなに 言うならば 君が やるべきだよ。

（3）心に響く 歌を お客様に 届けたい。

（4）母は毎日 朝食を作つてくれる。

（5）海から 流れてくる 風、 なんて さわやかなのでしよう。

（6）君と 僕の 秘密基地も 敵に 見つかって しまつた。

ア・主部 イ・述部 ウ・修飾部 エ・接続部 オ・独立部

ア オ イ ウ エ ア

四 次の文の中から述部を探し、○で囲みなさい。（10点×2問）

（1）来週から 水泳の 授業が 始まるので、 水着を 買つて おきましょう。

（2）人間が生きていくために不可欠なものは、水と空気と食べ物だ。



点

中学校 国語 文法⑨ 文の成分 (文節相互の関係) (解答)

() 年 () 組 () 番 名前 ()

次の各文の一線部の文節相互の関係を後のア～オから選び、その記号を書きなさい。
(5点×10問)

野口英世は、世界に誇るべき科学者である。
旅行の途中での出来事を話してごらんなさい。
単身赴任中の父の帰る日が待ち遠しい。
雨だから、中止だ。
彼はどこかへ行つてしまつて、家にはいない。
おじさんは、十時か十一時には来られます。
家ごとに、花が咲つてありますね。
君が困るのも無理はない。
この問題はやさしい。だから満点だ。
ぼくと弟は顔が似ているか。

ア・主語・述語の関係
エ・並立の関係

イ・修飾・被修飾の関係
オ・補助の関係

ウ・接続の関係

二一線部に対応する()内で指示される文節を探し、○で囲みなさい。
(10点×5問)

例 赤いキスモスが庭にきれいに咲いた。

- (1) 選手は監督の指示した作戦を実行した。
(2) 選手は監督の指示した作戦を実行した。
(3) 選手は監督の指示した作戦を実行した。
(4) 学習で大切なのは復習を必ず行うことだ。
(5) 友達に教わつたけれど全くわからない。

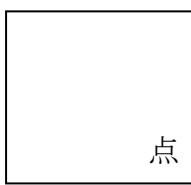
復習

文の成分

- 主語 : 「だれが・何が」にあたる文節
述語 : 「なんだ・どうする」にあたる文節
修飾語 : 「どのように・どんな」にあたる文節
※被修飾語 : 修飾語によって詳しく述べられる文節
接続語 : 前の文や文節の意味を後の文節に続ける文節
独立語 : 呼びかけ・感動・応答・提示を表す文節



点



オウアオエオウアイイ
――――――――――――――――

一次の文の□に当てはまる言葉を書きなさい。(5点×2問)

(1) その言葉だけで意味がわかる単語のことを

自立語

といい、

①単独で文節をつくる。 ②いつも文節の先頭に置かれる。

③一文節に必ず一つある。 ④単独で意味がわかる。

という特徴がある。

(2) 単独では文節を作れない単語のことを

付属語

といい、

①単独で文節を作れない。

②文節の頭には来ない。

③一文節に複数含まれることもある。

④それだけでは意味がわからぬ。

という特徴がある。

二次の文の自立語と付属語の数をそれぞれ書きなさい。(5点×4問)

① 美術館の入場者は週末になると増える。 自立語

五

付属語

② ああ、この曲は僕が保育園で初めて覚えた曲だ。自立語

八

付属語

三次の文から自立語を選び、○で囲みなさい。(10点×4問)

① 外は寒いからコートを着る。

② その切手はとても珍しく、価値が高いそうだ。

③ ここパンケーキが雑誌にのり、行列ができる店になつた。

④ さあ、みんなで協力して苦境を乗り切るぞ。

四次の文から付属語を選び、一線を引きなさい。(10点×3問)

① 庭に赤い花が咲く。

② 昨日覚えた漢字がテストに出た。

③ キャプテンの声がグラウンドに響き、みんなの気持ちが一つになつた。

点



一次の文の□にあてはまる言葉を書きなさい。（10点×3問）

○単語には文の中で使われるとき形が

変
わ
ら
な
い

ものとがある。

変
わ
る

ものと

○文の中で使われるとき、単語の形が変化することを

活
用

という。

二次の文の中から自立語で活用する単語を選び、○で囲みなさい。（10点×5問）

(1) 私の母は料理を作るのが上手だ。

(2) 今日の夜こそ必ず早く寝るぞ。

(3) 父は将棋が強くて僕はいつも負ける。

(4) 庭に咲く花を切って部屋に飾る。

(5) 暖かい紅茶にミルクを入れて飲む。

自立語は、その言葉だけで意味がわかる単語のことだよ！

三次の文の中から自立語で活用しない単語を選び、○で囲みなさい。（10点×2問）

(1) 昨日の夜家族で夕飯を食べに行つた。

(2) 僕の姉は、学校の先生をしている。



() 年 () 組 () 番 名前 ()

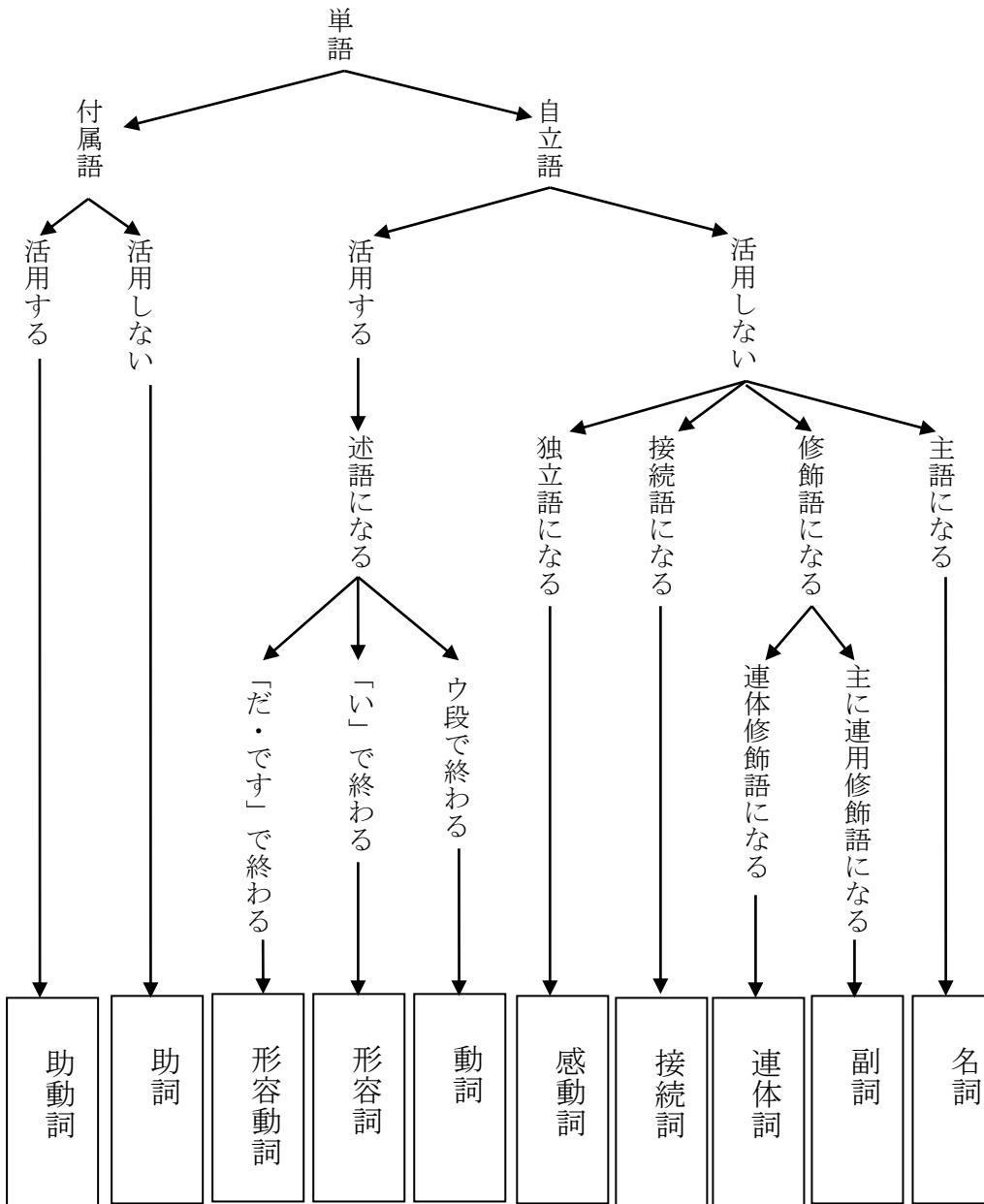
一次の文の□にあてはまる言葉を書きなさい。(10点×5問)

○单語を「

自	立	語
・	付	属
語		

」、「活用する・しない」という基準で分け、さらに、それがどのような文の成分になるか、また、どんな言い切りの形になるかによつて分類したもののが、体言・品詞という。また、主語になることができる单語を用言、単独で述語になることができる单語を用言という。

二次の品詞分類表を完成させなさい。(5点×10問)



点

一次の各文の一線部の単語の品詞名をそれぞれあとから選び、記号で答えなさい。(10点×4問)

(1) 今日の夕飯は僕の大好きなカレーライスだ。

(2) 昨日の夜は暑くて寝苦しかった。

(3) 今私が一番夢中になつてることとは音楽を聴くことだ。

(4) 今年の合唱コンクールは、指揮者に立候補する予定だ。

ア	名詞	イ	副詞	ウ	連体詞	エ	接続詞	オ	感動詞
カ	動詞	キ	形容詞	ク	形容動詞	ケ	助詞	コ	助動詞

ケ	力	キ	ア
---	---	---	---

点

二次の文について、あとの問い合わせに答えなさい。(10点×6問)

・今年の大会にはあらゆる国の人々が大勢集まる予定です。

(1) 自立語で活用のある単語を書き抜きなさい。
(集まる)

(2) (1)で抜き出した単語の品詞名を書きなさい。
(動詞)

(3) 自立語で活用のない単語をすべて書き抜きなさい。

(今年・大会・あらゆる・国・人々・大勢・予定)

(4) 付属語で活用のない単語をすべて書き抜きなさい。

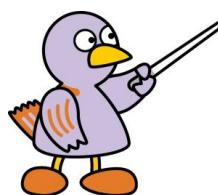
(の・に・は・の・が)

(5) 付属語で活用のある単語を書き抜きなさい。

(です)

(6) (5)で抜き出した単語の品詞名を書きなさい。

(助動詞)



（ ）年（ ）組（ ）番 名前（ ）

一次の文から動詞を書き抜きなさい。（10点×2問）

（1）遠くにスカイツリーがはつきりと見える。

（2）校庭の花壇にきれいな花が咲く。

咲く

見える

点

二次の一線部の動詞を言い切りの形に直して書きなさい。（10点×3問）

（1）体育の時間にプールで泳いだ。

泳ぐ

（2）窓を開ければ、涼しくなるよ。

開ける

（3）人の嫌がることはしないことだ。

する

三 「書く」という動詞を「 」に示す活用形に書きなさい。（5点×6問）

（1）〈未然形〉ノートを（ ）ない。

書か

（2）〈連用形〉ノートを（ ）ます。

書き

（3）〈終止形〉ノートを（ ）。

書く

（4）〈連体形〉ノートを（ ）ことは大切です。

書き

（5）〈仮定形〉ノートを（ ）ば、覚えます。

書け

（6）〈未然形〉ノートを（ ）う。

書こ

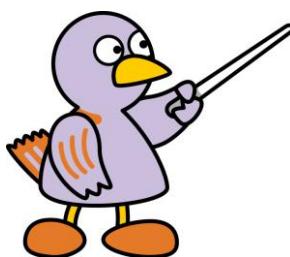
四 次の一線部の動詞の活用形を書きなさい。（10点×2問）

（1）ぼくと一緒に走ろうよ。

未然形

（2）県大会出場を目指している。

連用形



() 年 () 組 () 番 名前 ()

次の五段活用の活用表を完成させなさい。(5点×6問)

点

主な続き方	書く	語例	
		語幹	未然形
ーう。	ーない。	こか	連用形
ーた。	ーます。	き	終止形
ー。	ー。	く	連体形
ーこと	ーとき	く	仮定形
ーば	ーば	け	命令形
ー。	ー。	け	

二 活用の種類の見分け方を参考にして、語群の中から五段活用の動詞を五つ探し、書き抜きなさい。(10点×5問)

* 活用の種類の見分け方
動詞に「ない」をつけ、「ない」の直前の音によって分類

①動詞十「ない」 ⇒ A段の音→五段活用

例 書かない

②動詞十「ない」 ⇒ I段の音→上一段活用

例 信じない

③動詞十「ない」 ⇒ E段の音→下一段活用

例 考えない

読む 食べる 寝る 見る 来る 走る
笑う 歩く する 切る 出る 起きる

切る 歩く 笑う 走る 読む

三 例文の動詞と活用の種類が同じものを選び、記号を書きなさい。(20点×1問)

(1) 今日は、友達と公園で遊んだ。

ア 彼の質問に答えられなかつた。

イ 風で木が大きく揺れている。

ウ 明日も彼女が来ればいいと思う。

エ 今年こそ家族で旅行に行こう。

エ



次の上一段活用と下一段活用の活用表を完成させなさい。

（5点×8問）

点

主な続き方	語例		語幹
	調べる	語幹	
ーう。	べ	未然形	しら
ーた。	べ	連用形	
ー。	べる	終止形	
ーこと	べる	連体形	
ーば	べれ	仮定形	
ー。	べよろ	命令形	

二 活用の種類の見分け方を参考にして、語群の中から上一段活用と下一段活用の動詞を二つずつ探し、書き抜きなさい。（10点×4問）

上一段活用

下一段活用

着る
起きる

寝る
加える

下一段活用

* 活用の種類の見分け方
動詞に「ない」をつけ、「ない」の直前の音によって分類
 ①動詞 + 「ない」 = ア段の音 → 五段活用 例 書かない
 ②動詞 + 「ない」 = イ段の音 → 上一段活用 例 信じない
 ③動詞 + 「ない」 = ウ段の音 → 下一段活用 例 考えない

咲く 洗う 加える 入る 着る 勉強する
探す 来る 取る 寝る 減る 起きる

三次の一線部の動詞のうち活用の種類が他と異なるものを選び、記号で答えなさい。
 (1) ア 彼のこと信じて待とう。
 (2) ウ 毎日何時に寝ているの。
 (3) イ 雨が降つて大会が延びた。

ウ

エ 図書室で本を借りた。



一次の力行変格活用とサ行変格活用の活用表を完成させなさい。

（5点×10問）

点

主な続き方	語例	語幹	来る
			未然形
ーう。	ーない。	させし	未然形
	ーた。	し	連用形
ー。	ーます。	する	終止形
	ーこと	する	連体形
ーば	ーとき	すれ	仮定形
	ー。	せしろ	命令形

二次の一線部の動詞の活用形を書きなさい。（10点×3問）

(1) 練習せずに上手くはなれないぞ。

未然 形

(2) もつと早くくればよかつたのにね。

仮定 形

(3) 昨日は頑張つて勉強しました。

連用 形

三次の例文の動詞と活用の種類が同じものを選び、記号で答えなさい。（20点×1問）

(1) テストが終わって安心した。

ア 友達が家に遊びにきた。

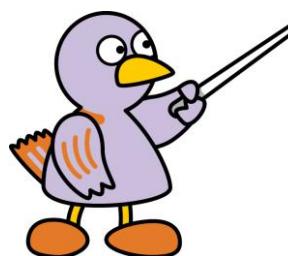
イ 新しい法律が制定された。

ウ 彼が決勝ゴールを決めた。

エ 秋葉原で電車を降りた。

イ

例文の動詞を終止形に直して活用の種類を見極めよう



（　　）年（　　）組（　　）番（　　）名前（　　）

一（　　）に適切な自動詞または他動詞を書きなさい。（10点×8問）

点

自動詞	他動詞
-----	-----

（1）話が続く。

話を（　　続ける　　）。

（2）ペンが（　　落ちる　　）。

ペンを落とす。

（3）人が集まる。

人を（　　集める　　）。

（4）扉が（　　閉まる　　）。

扉を閉める。

（5）色が変わる。

色を（　　変える　　）。

（6）コップが（　　割れる　　）。

コップを割る。

（7）身体が冷える。

身体を（　　冷やす　　）。

（8）犬が（　　逃げる　　）。

犬を逃がす。

二次の動詞の中から「自動詞・他動詞」という分類の上では他と異なるものを選び、記号で答えなさい。（10点×2問）

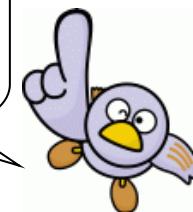
（1）ア 建つ イ 残る ウ 育つ エ 抜く

（2）ア 読む イ 出す ウ 並ぶ エ 折る

ウ

エ

自動詞は、そのものの
自体の動作などを
表す動詞で、「～が」
の形で使われるこ
とが多いよ！



() 年 () 組 () 番 名前 ()

一次の一線部の動詞を可能動詞に直しなさい。(10点×4問)

(1) クロールで五十メートル泳ぐ。

泳げる

(2) 英語で書かれた本を読む。

読める

(3) とても上手に歌を歌う。

歌える

(4) お年玉で新しい洋服を買う。

買える

二次の文から補助動詞を書き抜きなさい。(10点×4問)

(1) ()に置いてある本は僕のものだ。

ある

(2) ちょっとノートに書いてみる。

見る

(3) 元気な少年が一生懸命走っている。

いる

(4) 子供たちの元気な声が聞こえてくる。

くる

(1) ア 助ける イ 書ける ウ 集める エ 受ける

イ

三次の動詞の中から可能動詞を選び、記号で答えなさい。(10点×1問)

(1) ア 友達にプレゼントをあげる。

イ

(1) イ 友達の宿題を見てあげる。

可能動詞は、「～できる」という意味が含まれているんだよ



点

() 年 () 組 () 番 名前 ()

一次の一線部の動詞の活用の種類をあとから選び、記号で答えなさい。

(10点×8問)

(1) 向こうにいる友達に大声で叫んだ。

(2) 今週の土曜日に彼と会う予定です。

(3) 相手の目を見て話をしなさい。

(4) あの洋服を買おうと思つている。

(5) 彼女と話もせずに別れてしまった。

(6) 思つていた以上にたくさん食べられないよ。

(7) こんなにたくさん食べられないよ。

(8) もつと彼のことを信じてあげなよ。

イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ア	ア
---	---	---	---	---	---	---	---

カ変とサ変の動詞以外は、「ない」をつけて判断しよう！



点

ア 五段活用	イ 上一段活用	ウ 下一段活用
エ カ行変格活用	オ サ行変格活用	

二次の動詞と活用の種類が同じものを一つ選び、記号で答えなさい。(10点×2問)

- | | | | |
|--------|------|------|------|
| (1) 笑う | イ 見る | ウ 飲む | エ 走る |
| ア する | | | |
-
- | | | | |
|---------|------|-------|------|
| (2) 溶ける | イ 乗る | ウ 飽きる | エ 来る |
| ア 訪ねる | | | |

ア	エ
---	---

() 年 () 組 () 番 名前 ()

一次の一線部の動詞の活用の種類をあとから選び、記号で答えなさい。
また、活用形を書きなさい。

(5点×10問)

点

(1) きっと彼女はここに来ないだろう。

(2) ここはひとつ彼に任せることにしよう。

(3) もっとしっかり走ってください。

(4) もう少し早く起きれば間に合った。

(5) 顧問がいないときは練習させません。

オ	イ	ア	ウ	エ
未然形	仮定形	連用形	連体形	未然形

ア 五段活用 イ 上一段活用 ウ 下一段活用
エ 力行変格活用 オ サ行変格活用

二次の動詞のグループから()に示す分類の上では他と異なるものを一つ選び、記号で答えなさい。(10点×3問)

(1) 〈可能動詞かどうか〉

ア 調べる イ 述べる ウ 作れる エ 任せる

イ
エ
ウ

(2) 〈活用の種類〉

ア 寝る イ 生える ウ 食べる エ 起くる

イ
エ
ウ

(3) 〈自動詞か他動詞か〉

ア 続ける イ 落ちる ウ 届ける エ 当てる

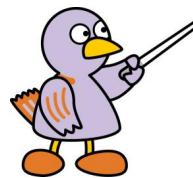
イ
エ
ウ

三次の文から動詞を見つけ、終止形と活用の種類と活用形を書きなさい。

(20点×1問)

(1) この本を借りようと思ひます。

借りる	終止形
上一段活用	活用の種類
未然形	活用形



次の形容詞の活用表を完成させなさい。(5点×4問)

主な続き方	語例	
	語幹	未然形
ーう。	かる	かろ
ーございます。	ーなる。	かく
ーた。	い	かつ
ー。	い	うく
ーこと	い	た
ーとき	けれ	こ
ーば	○	ざいます。
ー。		う

次の文から形容詞をそのままの形で書き抜きなさい。(10点×2問)

(1) 昨日は具合が悪かつたので、ずっと家にいた。

悪かつ

(2) このケーキはあまり甘くない。

甘く

三次の文から形容詞を見つけ、終止形と活用形を書きなさい。(10点×4問)

(1) この靴はもう古くなつたので、買い換えたい。

古く

連用形

(2) 彼のように心の強い人になりたい。

強く

連体形

四次の各組のどちらが形容詞か。記号で答えなさい。(10点×2問)

(1) ア 今日は絶対に雨は降らない。

ア

イ 今日のご飯はおいしくない。

イ

(2) ア 彼は細かいことはこだわらない人だ。

ア

イ 彼女は細かな気配りのできる人だ。



点

次の形容動詞の活用表を完成させなさい。（5点×4問）

主な続き方	語例		未然形	連用形
	元気だ	語幹		
ーう。	だろ	にで	だつ	連用形
ーございます。	ーなる。	ーた。	だ	終止形
ー。	ーこと	ーとき	な	連体形
ーば	ーこと	ーとき	なら	仮定形
ー。	ー。	ー。	○	命令形

次の文から形容動詞をそのままの形で書き抜きなさい。（10点×2問）

(1) 庭にたくさんのかわいい花が咲いている。

かわいい

(2) 今日の彼はいつもと違い、とても静かだった。

静かだつ

三次の文から形容動詞を見つけ、終止形と活用形を書きなさい。（10点×4問）

(1) 台風の日に川に近づくのは危険である。

危険だ

連用 形

(2) バスの方が便利ならそちらを使っていいよ。

便利だ

仮定 形

四次の各組のどちらが形容動詞か。記号で答えなさい。（10点×2問）

(1) ア あれはとても不思議な出来事だった。

ア

イ あれはとてもおかしな出来事だった。

イ

(2) ア 今年の冬はいつもより暖かく感じられる。

ア

イ 今年の冬はいつもより暖かく感じられる。

イ



一次の語群の中から名詞を三つ選び、書きなさい。(10点×3問)

走る 三個 楽しい

埼玉県 やあ 静かだ

だから あれ ゆつくり

あれ 埼玉県 三個

点

二次の——線部の名詞の種類を下から選び、線でつなぎなさい。(10点×5問)

(1) この荷物はだれのものですか。

普通名詞

(2) もっと母の言うことを聞きなさい。

固有名詞

(3) 橋本さんは父の会社の人です。

数詞

(4) 友達と四時に待ち合わせました。

形式名詞

(5) 僕の好きな本は「走れメロス」だ。

代名詞

三次の名詞のグループから、他と種類が異なるものを一つずつ選び、書きなさい。(5点×2問)

(1) 枕草子・紫式部・京都・物語

(2) 姉・ぼく・彼女・だれ

(3) 学校・埼玉県・日直・授業

(4) こと・いま・もの・はず

いま 埼玉県 姉 物語



（ ）年（ ）組（ ）番 名前（ ）

一次の文から副詞を書き抜きなさい。（10点×4問）

（1）近所の家にとても大きな犬がいる。

（2）君ならもっと速く走れるはずだ。

（3）有名人に会えるなんてまるで夢のようだ。

（4）肩をトントン叩かれてびっくりした。

まるで
もつと
とても

トントン

二次の一線部の副詞が修飾している文節を書き抜きなさい。（10点×3問）

（1）休日はゆっくり家で家族と過ごしたい。

過ごしたい

（2）これはちょっと前の出来事です。

前の

（3）彼女はたぶん明日の旅行には来ないだろう。

来ないだろう

。

三次の各組の一線部のどちらが副詞か。記号で答えなさい。（15点×2問）

（1）ア これは母が大切にしているシルクのハンカチだ。

イ 頭にきたので、はつきりこう言つてやつた。

（2）ア 宿題はどうに済ませたから安心して遊べるぞ。

イ ここをまっすぐに行って、次の信号で右だ。

ア

イ



点

() 年 () 組 () 番 名前 ()

一次の一線部の副詞と呼応する言葉を□の中から選んで書きなさい。(10点×6問)

(1) 今日の漢字の小テストはきつと満点(だらう)。

(2) なぜこんなことになつたの(か)わからない。

(3) まさか失敗することはある(まい)。

(4) いくら失敗し(ても)、あきらめずに取り組もう。

(5) 今度の日曜日、ぜひ家に遊びに来て(ください)。

(6) 決勝に残れるなんて、まるで夢の(ようだ)。

ようだ なら ください か ない
だろう まい ば ても

二次の一線部の副詞と呼応する言葉が不適切なものを選び、記号で答えなさい。また、その言葉を一文節の適切な言葉に書き直しなさい。(20点×2問)

(1) アたとえ苦しかつたら、彼は負けないだろう。

イ 県大会に出場できるなんてまるで夢のようだ。

ウ ちつとも悪いことをしていないので、しかられた。

エ 今日の夜はおそらく雨が降るだろう。

記号
ア

適切な言葉
苦しくても



点

一次の文から連体詞を書き抜きなさい。（10点×4問）

(1) ネギはわが故郷の名産の一つだ。

わが

(2) テスト開始からほんの五分しかたっていない。

ほんの

(3) 世の中にはいろんな人がいる。

いろんな

(4) 家の近くに大きな公園がある。

大きな

二次の一線部の連体詞が修飾している文節を書き抜きなさい。（10点×4問）

(1) どのケーキを買おうか迷つてしまふ。

ケーキを

(2) 今日のうちに彼女と例の話をしておこう。

話を

(3) 母は家のあらゆることを仕切つている。

ことを

(4) この争いの原因はつまらないことだつた。

争いの

三次の各組の一線部のどちらが連体詞か。記号で答えなさい。（10点×2問）

(1) ア テレビ番組がおかしくて笑つてしまつた。

イ

イ そんなおかしなことを言わないのでくれ。

(2) ア ある程度のことは我慢するよ。

ア

イ 庭にある木を植えようよ。



() 年 () 組 () 番 名前 ()

点

副詞 ↓ 活用のない自立語。主に連用修飾語になり、用言(動詞・形容詞・形容動詞)を修飾する。

連体詞 ↓ 活用のない自立語。連体修飾語になり、体言(名詞)を修飾する

次の文から副詞と連体詞を見つけ、副詞には一線を、連体詞には=線を引きなさい。
(10点×6問)

(1) 母から預かった例の品物を必ず先生に届けてください。

(2) 私たちはいかなる暴力にも屈しないことをはつきり宣言する。

(3) あらゆる方法を試してみたが、結果は全く変わらず悔しい思いをした。

二次の一線部の品詞が他と異なるものを一つ選び、記号で答えなさい。(20点×2問)

(1) ア いろいろな人と交流してみたい。

イ 彼は大した人物だ。

ウ この道をまっすぐ行つてください。

エ いかなる困難にも立ち向かう。

(2) ア たぶん彼は遅刻してくるだろう。

イ 彼はポケットから小さな箱を取り出した。

ウ 彼は絵を描くのがかなり上手だ。

エ しばらく待つたが彼は来なかつた。

副詞と連体詞の特徴をしつかり確認しよう!



イ

ウ

一次の一線部の接続詞の種類を□の中から選び、書きなさい。

（10点×4問）

（1）彼女の説明は具体的だ。だからわかりやすい。

順接

（2）これで宿題が終わつた。さて次は何をしようかな。

転換

（3）赤、青、緑。つまりこれを光の三原色という。

説明・補足

（4）途中で足をくじいた。だがプレーを続けた。

逆接

二次の（ ）に入る適切な接続詞を□の中から選び、書きなさい。（10点×4問）

（1）あの店のハンバーグはおいしい。（ ）、値段が安い。

しかも

（2）あの店のハンバーグはおいしい。（ ）、もっと食べたい。

だから

（3）あの店のハンバーグ、（ ）コロッケを食べたい。

もしくは

（4）あの店のハンバーグはおいしい。（ ）、値段が高い。

でも

だから でも しかも もしくは なぜなら では

三一線部が接続詞であるものを選び、記号で答えなさい。（20点×1問）

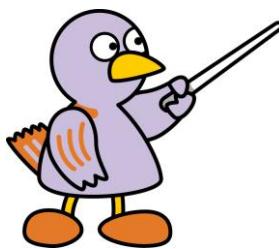
（1）ア 今日もまた気温が高くなるそうだ。

イ 友達に聞いたが、だれも知らなかつた。

ウ 図書館に行つた。そこで彼に会つた。

エ 結果は電話またはメールで知らせます。

エ



点

一次の文から感動詞を書き抜きなさい。 (10点×4問)

(1) こんにちは、 今日もいい天気ですね。

こんにちは

(2) これはあなたのものですか。 はい、 そうです。

はい

(3) もしもし、 田中さんのお宅ですか。

もしもし

(4) さあ、 練習を再開しよう。

さあ

二次の一線部の感動詞の種類を□の中から選び、 書きなさい。 (10点×4問)

(1) あなたは伊藤さんですか。 いいえ、 ちがいます。

応答

(2) やあ、 久しぶりだね。 元気だった?

呼びかけ

(3) さようなら、 また明日遊ぼうね。

あいさつ

(4) へえ、 そんなことまで知っているんだ。

感動

感動 呼びかけ 応答 あいさつ

三次の各組の一線部のどちらが感動詞か。 記号で答えなさい。 (10点×2問)

(1) ア ああ言えばこう言うのはやめなさい。

イ ああどうしよう、 困ったなあ。

イ

(2) ア ちよつと待つてくださいね。

イ ちよつと、 君、 待ちなさい。

イ



一次の文の□に当てはまる言葉を書きなさい。(10点×1問)

格助詞—主に**体言**について文節と文節の関係を示す。

※格助詞は以下の十個 「を・に・が・へ・や・の・と・から・で・より」

二次の文の中から格助詞を探し、一線を引きなさい。(5点×6問)

- (1) 私の弟は学生だ。 (2) 月末は銀行に行く。 (3) ペンは剣より強い。
 (4) 東京と埼玉は近い。 (5) 先生は自動車から降りた。 (6) コスマスがきれいだ。

三次の各文における「の」の意味・用法を後の選択肢から選び、記号で答えなさい。(5点×6問)

- (1) 僕は食べるのが大好きだ。 (イ) (2) 誰もいない冬の海。 (ア)
 (3) 厳しい寒さの中を帰った。 (ア) (4) 行くの行かないのと騒ぐな。 (エ)
 (5) 国語の好きな人はいますか。 (ウ) (6) この鉛筆は彼のだ。 (イ)
 ア・連体修飾語になることを表す。 イ・体言の代用を表す。
 ウ・主語を表す。 エ・並立を表す。

四次のー線部の助詞と同じ意味・用法のものを後から選び、記号に○を付けなさい。(10点×3問)

(1) 学校から家まで全力で走る。

ア・暑いからクーラーをつける。
 ウ・あまりの寒さから風邪をひいた。

(2) 明日は競技場で大会が行われる。

ア・北海道まで飛行機で行く。
 ウ・海は静かでおだやかだ。

(3) 僕は先生にほめられた。

ア・これを君にあげよう。
 ウ・弟と釣りに行く。

イ・電車が八時に到着する。
 ウ・飼い犬に手をかまれる。



点

一次の文の□に当てはまる言葉を書きなさい。(10点×1問)

接続助詞—用言

や助動詞に付いて、いろいろな関係で前後をつなぐ。

※接続助詞「ば・と・ても(でも)・けれど(けれども)・が・のに・ので・から・し・て(で)・ながら・たり(だり)・ものの・ところで」など

二次の文の中から接続助詞を探し、一線を引きなさい。(5点×6問)

- (1) 曲を聞きながら寝る。 (2) 晴れば部活だ。 (3) 雨は降ったがすぐやんだ。
 (4) 寒いので、窓を閉める。 (5) 広くて大きい。 (6) 急がないと遅刻だ。

三次の各文における「て(で)」の意味・用法を後の選択肢から選び、記号で答えなさい。(5点×6問)

- (1) 体が疲れて動かない。 (ア) (2) 甘くて苦いチョコレート。 (ウ)
 (3) 外は雪が降っている。 (エ) (4) 夏が過ぎて、秋になる。 (イ)
 (5) 教科書を読んでおこう。 (イ) (6) 苦くて食べられない。 (ア)

ア・確定の順接(原因・理由)を表す イ・単純な接続を表す。
 ウ・並立を表す。 エ・補助の関係を表す。

四次の—線部の助詞と同じ意味・用法のものを後から選び、記号に○を付けなさい。(10点×3問)

(1) 秋になると物悲しい気持ちになる。

ア・寿司とステーキが好きだ。
 ウ・早くしないと電車が出てしまう。
 エ・何をしよう君の勝手だ。

(2) 今日はゆっくり休んでいる。

ア・北海道まで飛行機で行く。
 ウ・鳥が飛んでいる。

(3) 失敗してもあきらめないことが大切です。

ア・いくら呼んでも返事がない。
 エ・それは子供でも知っている。

イ・野球だけでもやりたい。
 エ・桃でも食べようか。



点



一次の文の□に当てはまる言葉を書きなさい。(10点×1問)

終助詞—文や文節の

終わり

について話し手・書き手の気持ちや態度を表す。

※終助詞「か・な・や・ぞ・とも・よ・の・わ・ね・さ」など

二次の文の中から終助詞を探し、一線を引きなさい。(5点×6問)

(1) 君は知つているか。

(2) もう済んだことだよ。

(3) そんな日もあるさ。

(4) 少年よ、大志を抱け。

(5) このことは忘れるな。

(6) どうなつても知らないぞ。

副助詞—いろいろな語について様々な意味をそえる。

※副助詞「は・も・こそ・さえ・でも・しか・まで・ばかり・だけ・ほど・くらい・など・きり・なり・やら・か」など

二次の文の中から副助詞を探し、一線を引きなさい。(5点×6問)

(1) 台風は進路を変えた。

(2) 彼こそがリーダーだ。

(3) 麦茶でも飲もうかな。

(4) 数学だけ苦手なんだ。

(5) 朝練で腹筋もした。

(6) 昨日から勉強しかしていない。

三次の一線部の助詞と同じ意味・用法のものを後から選び、記号に○を付けなさい。(10点×3問)

(1) それじゃあ試合には勝てないな。

ア・これをやつたのはお前だな。

イ・ああ、いい天気だな。

乙・彼には気の毒なことをしたよ。

エ・大きなかぶを引き抜こう。

(2) 他の人はともかく、君は信じてくれるはずだ。

ア・富士山はとても美しい。

イ・やる気はあるが、続かない。

ウ・ここで泣きはしないさ。

エ・投げては取りに行くの繰り返しだ。

(3) ラグビーも好きです。

ア・A高校には手も足も出なかつた。

イ・タイムが五秒も縮まつた。

ウ・走つても追いつけない。



点

() 年 () 組 () 番 名前 ()

一次の文には「」の数だけ助詞がある。その助詞に線を引きなさい。(5点×6問)

(1) 埼玉は 関東地方の 中央に 位置する。〈3〉

(2) 君と 私は 友達だから いつも 一緒だ。〈3〉

(3) 昨夜の 大雨で 柿が すべて 落ちてしまつた。〈4〉

(4) ふるさとから 旅立つ 娘を 笑顔で 見送るよ。〈4〉

(5) これくらい 君には 朝飯前だろう。〈3〉

(6) 山と 海、どちらが いいかしら。〈3〉

二次の各文の一線の助詞の種類を後の選択肢から選び、記号で答えなさい。

(1) 山が 黄色と 赤に 染まる。 (ア) (2) 太陽は いつでも 東から 昇る。 (ア)

(3) A先生は 天文学が 専門だ。 (ウ) (4) 彼は まだ 来ないのか。 (エ)

(5) 駅に行つたが、会えなかつた。 (イ) (6) エースで さえ 抑えられない。 (ウ)

ア・格助詞 イ・接続助詞 ウ・副助詞 エ・終助詞

三次の()に適切な格助詞を書きなさい。

(5点×8問)

(1) 飛行機 ()で イタリアへ 行く。

(2) 孫()に お小遣いを やる。

(3) 「駅は どちらですか。」() たずねる。

(4) トランペット()と ピアノ、 両方得意だ。

(5) 動物園に ライオン()を 見に行つた。

(6) 六時()より 前に 目が 覚めた。

(7) 美術()が 好きだ。

(8) 窓()から 顔を 出す。

助詞の見分けは 難しい!
前に 来る語や 置かれる位
置に 注目してみよう

点

格助詞……主に 体言
接続助詞……主に 用言や 助動詞
副助詞……様々な語
終助詞……文末に 置かれる



() 年 () 組 () 番 名前 ()

一次の表の空欄に当てはまる助動詞の種類を書きなさい。

(5点×20問)

点

②③	②②	②①	②①①	②①②	②①③	②①④	②①⑤	②①⑥	②①⑦	②①⑧	②①⑨	②①⑩	②①⑪	②①⑫	②①⑬	②①⑭	②①⑮	②①⑯	②①⑰	②①⑱	②①⑲	②①⑳	②①㉑	②①㉒	②①㉓	
です	まい	そうです	そうです	ようだ	ようだ	らしい	ます	た	よう	ぬない (ん)	たがる	させる せる	られる れる	受け身	他のものからそうされる	…することができる	…することができる	…することができる	…することができる	…することができる	…することができる	…することができる	…することができる	…することができる	…することができる	…することができる
断定	否定の推量	否定の意志	伝聞	様態 (推定)	比喩	推定	推定	丁寧	想起 (確認)	存続	完了	過去	勧誘	意志	推量	否定(打ち消し)	話し手・書き手が望むこと	希望	話し手・書き手以外が望むこと	他の中にそうさせる	他のものにそうさせる	…本を読ませる。	…朝食を食べさせる。	…朝早く起きられる。	…先生に見られる。	
はつきりと言いかてる	…ないだろうという予想	…ないつもりだという気持ち	他から聞いたことを伝える	様子や状態から推し量る	たとえ (まるで)のようだ	根拠に基づいて推し量る	根拠に基づいて推し量る	丁寧な気持ちを表す	思い出し、思い当たること	今も続いている状態 (…ている)	ちょうど終わったこと	現在より以前のこと	何かを一緒にしようと誘う	何かをしようとする	想像・予想する	打ち消す	話し手・書き手が望むこと	希望	話し手・書き手以外が望むこと	…朝食を食べたい。	…朝早く起きられる。	…朝早く起きられる。	…先生が来られる。	…先生に見られる。	…先生に見られる。	
・兄は高校生です。	…とてもすばらしい作品だ。	・明日は雪にはなるまい。	・失敗は二度としまい。	・明日は雪が降るそうだ。	・明日は雪が降るらしい。	・まだ雪が降っているようだ。	・大きくて岩のようだ。	・明日は雪が降るらしい。	・たつた今、駅に着いた。	・昨日はとても寒かった。	・さあ、一緒に帰ろう。	・さあ、一緒に帰ろう。	・私も行きます。	・これはあなたのでしたね。	・先のとがった鉛筆。	・たつた今、駅に着いた。	・昨日はとても寒かった。	・これはあなたのでしたね。	・先のとがった鉛筆。	…彼女はケーキを食べたがる。	…彼女はケーキを食べたい。	…朝早く起きられる。	…朝早く起きられる。	…朝早く起きられる。	…朝早く起きられる。	

助動詞

— 体言や用言などいろいろな語について様々な意味をそえる。

「れる・られる・せる・させる・たい・たがる・らしい・ようだ・そだ・ない・ぬ・う・よう・まい・た・だ・です・ます」

一次の文の中から助動詞を探し、一線を引きなさい。(5点×6問)

(1) それは誰も知らない。 (2) 国語が好きです。 (3) 会いに行きたい。

(4) 決して忘れるまい。

(5) 家に帰らせる。

(6) 風が強くなりそうだ。

二次の各文における「れる(られる)」の意味・用法を後の選択肢から選び、記号で答えなさい。(5点×6問)

(1) 彼の身が案じられる。 (ウ)

(2) 彼女に話しかけられる。 (ア)

(3) 先生が話される。 (イ)

(4) 霧が晴れたと思われる。 (ウ)

(5) 私は速く走れる。 (エ)

(6) あの子に笑われる。 (ア)

ア・受け身 イ・尊敬 ウ・自発 エ・可能

三次の一線部の助動詞と同じ意味・用法のものを後から選び、記号に○を付けなさい。(10点×4問)

(1) 結婚式は三日前に終わつたそうだ。

ア・これはとても値段が高そうだ。
ウ・今度こそ優勝できそうだ。

イ・明日は晴れそうだ。
エ・明日は晴れるそうだ。



(2) 外は寒かろう。

ア・来年もまた頑張ろう。
ウ・夜はきっと静かだろう。

イ・一緒に素敵な絵を描こう。
エ・状況に応じて判断しよう。

(3) 私はもう二度とここへは帰るまい。

ア・雨はもう降るまい。
ウ・もう飛ぶまいぞ、この蝶々。

イ・失敗を繰り返すまい。
エ・彼はどこへも行くまい。

(4) 父は仕事に行くらしく、スーツを着ている。

ア・男らしく勝負しなさい。
ウ・君はいつも子供らしいことをする。

イ・そこにいるのは先生らしい。
エ・学生は学生らしくしなさい。

点

一次の一線部と同じ意味で使われているものを選んで、記号に○を付けなさい。

(20点×5問)

(1) 私は絶対に行かない。

ア・強風の中歩くのは危ない。

イ・そんなにおいしくない。

ウ・誰も寝てはならない。

(2) 夏はおいしいトマトが食べられる季節です。

ア・市民の安全が案じられる。

イ・果実を害獣に食べられる。

ウ・今夜はごちそうが食べられる。

(3) 明日で面談期間は終わりだ。

ア・教室でフルートを吹く。

イ・緑がきれいにため息をついた。

ウ・吾輩は猫である。

(4) お腹が減ったから食事にしよう。

ア・少雨から水不足となつた。

イ・だから僕は嫌だと言つただろう。

ウ・足が痛いから見学する。

(5) この料理はおいしそうだ。

ア・君はピアノが得意だそうだね。

イ・「星がきれいだね。」「そうだね。」

ウ・明日は晴れそうだよ。

自立語か付属語か
どんな語に接続しているのか：
文節分けや単語分けから
一つついに見ていくと
見分けがついてくるよ！



点

「で」の識別

- ①受け身：「～される」の意味
- ②尊敬：主語が目上の人。
- ③自発：自然とわき上がる感情
- ④可能：「～ことができる」の意味

助動詞「られる」は四種類！

形容詞「ない」=文節が「ない」の上で切れない。
形容詞「ない」=文節が「ない」の上で切れる。

★助動詞「ない」は「ぬ」に置き換えられる。
例..走れ「ない」=走れぬ ○ 助動詞
暑く「ない」=暑くぬ × 形容詞
他の単語の一部=きたない(汚い)・切ないなど